

こどもと、みらいのこと。

こうぐち 高口ようこ

練馬区議会議員
[無所属]



旭丘の新しい小中一貫校「みらい青空学園」 校名公募に見えた地域の思い！

現在建築中の、旭丘の施設一体型小中一貫教育校。その校名が、「みらい青空学園」に決定。しかし、その経緯を辿ると……「旭丘という名前にしたい」という地域の強い思い、そして、練馬区の教育の大きな課題が見えてきました。



新しい学校名を公募。567人から870件もの応募がありました。その中で、「旭丘」「旭」「あさひ」漢字違いの「朝日」など
旭丘に関する名前が347件 「旭丘学園」は46件

「小中一貫教育校推進委員会（※）」で案を絞る
そこでも半数に「旭丘」が入った案 → 最終候補にも「旭丘学園」

委員会後、「旭丘学園」案を、練馬区が除外

最終候補の5案 そのうち2案は公募外から

- ① 旭丘小竹学園 **公募5件**
- ② あさひの森学園 **公募外**
- ③ えこだ学園 **公募2件**
- ④ えご花学園 **公募2件**
- ⑤ みらい青空学園 **公募外**

子ども達はそれを知らされずに投票し、「みらい青空学園」に決定

授業時間まで使って、子どもたちにも案を出させたのに募集案の中にない校名に…



公募案は「旭丘」がダントツ人気！ 「旭丘」の名を残す、守る唯一の方法とは

公募で「旭丘」の案が圧倒的に多かったことは、「あの学校は旭丘だ」という地域の思いを示しています。実際に「理由」の欄で、「旭丘の名前を残したい・入れたい・変えたくない・なくさないでほしい」という意見が50件以上もあり、他にも「そのままがいい」など、今の校名にこだわる理由が目立ちます。

高口自身、我が子が旭丘中に通っており、「旭丘」の名前を残したい気持ちがよくわかります。今はまだ「みらい青空学園」は「通称名」にとどまり、卒業証書などの正式な文書では「旭丘小学校」「旭丘中学校」の名前が残っています。しかし今後、小竹小が統廃合されれば、正式名称も条例改正され、「旭小」「旭中」の名前も消えてしまうでしょう。逆に言えば、小竹小が残れば、旭丘小・旭丘中の名前も残る。歴史と伝統があり、地域に親しまれた学校名を残すには、それしか方法がないのです。

※町会、PTA等で構成。公募委員なし、傍聴も不可

練馬区の考え

旭丘小、旭丘中、小竹小3校を廃止し、一つの貫校「みらい青空学園」に。

練馬区の狙い 予算削減→建替の工事費も、教員数・人件費も縮小できる

× 将来の懸念 江古田地域の児童数は増加傾向。旭丘の新校は12クラスで設計しており、小竹小を廃校にすれば、教室数が不足。旭丘・小竹両方にとって、教育環境が悪化！

高口の提案

小竹小は存続。
旭丘小、中は「みらい青空学園（通称）」となるが、「旭丘小」「旭丘中」は正式名称として残す

- ◎ 「旭丘を残したい」「小竹を残したい」どちらの地域の思いもかない、WinWin！
- ◎ 無理な統廃合による子どもへの悪影響、教室数不足等の教育環境の悪化が避けられる
- ◎ 避難拠点となる学校が残る、防災力を下げずに済む
- ◎ 教員が減らずに済み、先生の働き方改革にも貢献

小竹小は、最先端教育のモデル校に！

小竹小の廃校は、決定していません！「3校を1校にする」という練馬区の方針は変わっていませんが、いつどのタイミングで小竹小を統廃合するか等、一切未定のままです。

次、2026年4月予定の練馬区長選挙の結果次第で、小竹小存続は、十分可能！

教育を大切にせずに、未来があるでしょうか？ 無理な統廃合で子どもや地域に負担をかけるよりも、子どもの力が伸びる、こどもが「楽しい！」と通う、新しい学校づくりこそ、必要です。そのために、教育に理解ある区長に、変えていきましょう！



小中一貫校を考えよう

制度誕生から四半世紀たった、小中一貫校。夢の教育制度ではなく、様々な課題がわかってきています。かつて「中1ギャップの解消」も謳われましたが、文科省が、10年も前に、中1ギャップそのものを否定(※)。教育先端都市つくば市も、小中一貫校中止の転換を表明。新しい一貫校では、デメリットへの対応が不可欠です。

※文科省の国立教育政策研究所「中1ギャップという語に明確な定義はなく、その前提となっている事実認識(いじめ・不登校の急増)も客観的事実とは言い切れない」(2014年)

調査等で判明した **課題** ※一例

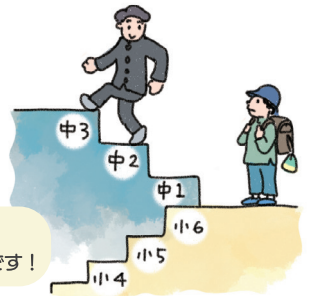
- 小学校高学年のリーダーシップ、主体性が育ちにくい
- 学校に行くのが楽しい等の「学校適応感」、精神的健康、自信・有能感、独立性・協調性など
→ 非一貫校より低い傾向
- 「体がだるい」など「疲労」の数値が高い等、6年生から環境負荷が高まり始める
- 9年に及ぶ「人間関係の固定化」

※つくば市の調査報告書、中央教育審議会答申(2014年)、大規模調査(9年間、74校・約9千名対象)

「小6問題」他への対応が必要！

旭丘がよい学校となるよう、対応策を、議会で要望しました。

- 6年生がリーダーシップを発揮できる機会を多く設定
- 中学校から新しいクラスメートが入る環境。そのために小竹小を残す



小6は小学生の最高学年として、責任感やリーダーシップを身につける教育が不可欠です！

教育的効果も不明の統廃合。 このまま進めていいの!?

江古田の子どもは増えているのに…

練馬区は、12-18学級=適正規模とし、12学級以下を統廃合の候補対象としています。しかし、適正規模だとなぜ・どのくらい教育的効果があるのか、データや数値等の合理的根拠を全く示していません。

5年後の児童数推計でも小竹小・旭丘小は合わせて微増。20年後も、練馬エリアの年少人口は増加(光が丘・石神井・大泉エリアは減少。練馬のみ増加!)。小竹小を統合すれば、教室が足りなくなり、教育環境は悪化…。練馬区の教育=未来が、本当に危うい…!



そもそも小中一貫校は全国的に、教育効果よりも、予算削減のために導入されてきた経緯があります。

練馬区立美術館の建替え 100億に迫る莫大な建築費!

81億円を上限と発表('22年7月) → 93億円('24年2月)
▶ まちなみ整備他、さらに増大する見込み…

建替えではなく修繕にして経費を抑え、人件費や福祉を手厚くすべきです。



費用も莫大なおうえ、設計も問題が多数!

- ⚠ 5階建なのに3階までしかないエスカレーター
▶ しかも **上りのみ、下りなし!**
- ⚠ バリアフリーのための建替えのはずが、階段だらけ…
- ⚠ 貫井図書館は、フロアに分かれて使いづらくなる

練馬区議会議員

こうぐち
高口ようこ

かわら版 2024年4月 発行者: インクルーシブな練馬をめざす会 高口ようこ

住所 〒176-0002 練馬区桜台 3-42-29 荒川方

tel 080-7746-8648

web koguchiyoko.net

mail info@koguchiyoko.net

PROFILE

1980年練馬区桜台生まれ。開三小中、都立大泉高校、慶応義塾大学卒。2児の母。2016年夫をがんで亡くし、ひとり親に。フリーライターを経て2018年初当選。2019年トップ当選。2023年3期目当選。ドラマ『相棒』と漫画が大好き。

LINE 公式アカウント

災害、医療、給付金
教育、子育てなど
あなたに関わる
生活情報を日々お届け

